

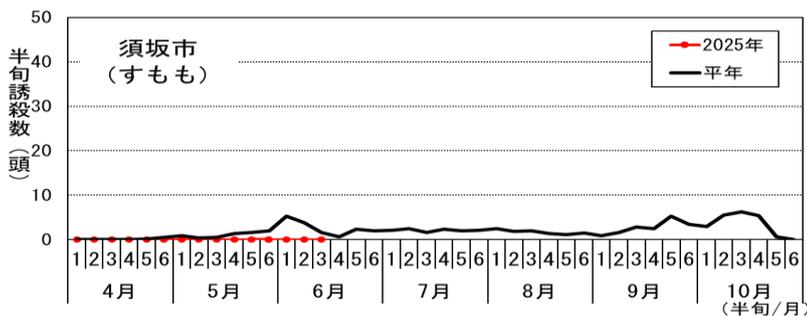
# チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

### ○須坂市（病害虫防除部）



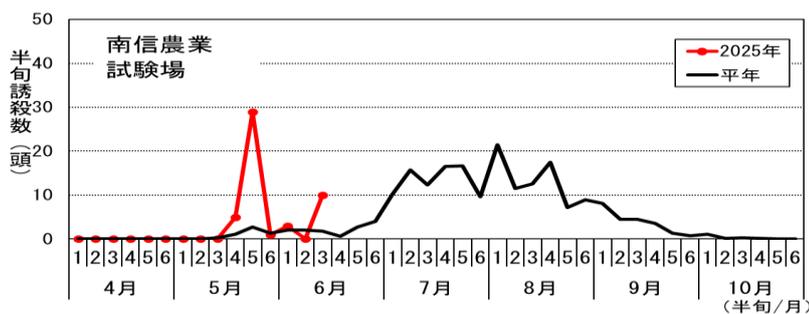
### 【調査地点】(標高 370m すももほ場)

・ 平均は 2015 年～2024 年の平均値。

### 【コメント】

・ 6月第3半旬まで、誘殺は観測されていない。

### ○県予察ほ（高森町 南信農業試験場）



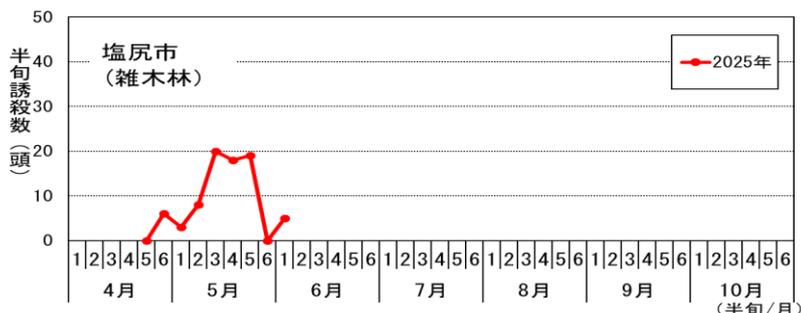
### 【調査地点】(標高 560m 場内)

・ 平均は 2015 年～2024 年の平均値。

### 【コメント】

・ 5月下旬の誘殺が多く、その後誘殺数は減少したが、6月3半旬に入り再び増加に転じている。

### ○塩尻市(病害虫防除部)



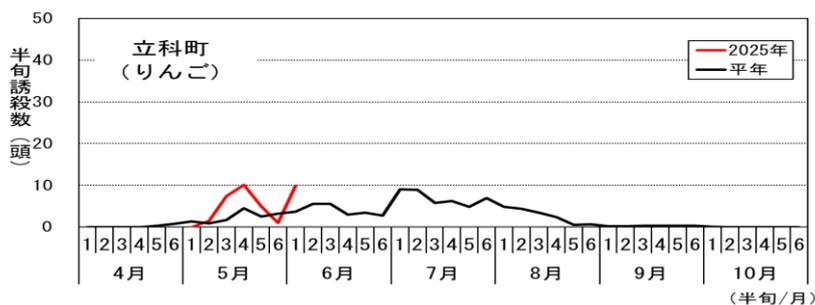
### 【調査地点】(標高 560m 雑木林)

・ 平均は 2015 年～2024 年の平均値。

### 【コメント】

・ 雑木林に設置したトラップでは、南信試同様、月後半の誘殺量が一度減少したのち、6月に入り再び増加している。

### ○立科町（※佐久農業農村支援センター調査協力）



### 【調査地点】(標高 670m りんごほ場)

・ 平均は 2015 年～2024 年の平均値。

### 【コメント】

・ 南信試や塩尻と同じような誘殺消長を示している。